

診療技術部門新人教育プログラム

A. 初年度カリキュラム

4月1日採用時に約一週間の新入職員研修があります。全職種共通ですが診療技術部門はそのうち2日間参加していただきます。

1. 新入職員研修2日間の主な内容（診療技術部門）

新入職員研修（診療技術部門） 共通	
医療安全、感染対策の初期講習（全職種共通）	医療安全管理室、感染対策室の専従スタッフからインシデント、アクシデント発生時の対応や感染性廃棄物の取り扱い、針刺し事故時の対応などの講義を受けます。
患者の急変対応（診療部各科室共通）	患者急変時の応急処置、応援スタッフの要請などの実習を受けます。
電子カルテの操作説明（診療部各科室共通）	電子カルテの基本操作と各科室独自のシステムの操作をシステムエンジニアから説明してもらいます。

2. 各科室の基本業務の習得

初年度の約半年間から1年間かけて一人で通常業務ができるように実際業務の修練に努めてもらいます。

最終目標；入職6ヶ月までに入院患者の栄養評価・食事調整・栄養指導ができるようになる

栄養科新人教育プログラム（初年度）	
期間	内容（目標）
4月～5月	○栄養評価（栄養管理計画書作成）
	栄養管理計画実施マニュアルに沿い、入院患者の栄養評価ができるようになる
	○食事調整
	院内約束食事箋規約を理解し、入院食の調整ができるようになる
	他職種との情報交換ができるようになる (指導栄養士がサポートを行う)
6月	○栄養指導（SOAP形式での栄養指導記録作成）
	病態に合わせた栄養指導を行う
	(指導栄養士がサポートを行う)
7月～3月	上記業務を一人で行うことができるようになる
	(指導栄養士が確認を行う)

- 3. 臨床研究、業績作りの教育
研究テーマの立案、患者データの分析、個人情報保護などについて院内・院外講師の指導を受けます。
- 4. 各科室において臨床研究や各種研究会での発表に向けていろいろな研鑽を積んでもらいます。尚、初年度期末の成果発表会で新入職者の1年間の業務報告を発表してもらいます。(各科室共通)

B. 2年度以降の研修のカリキュラム (各科室)

初年度研修終了後各科室で複数の業務をローテーションしたり、特定の専門業務の習得に努めてもらいます。

栄養科新人教育プログラム (2年次以降)	
期間	内容 (目標)
2年次	経腸・静脈栄養管理ができるようになる
	必要栄養量の算出、投与計画を立案できるようになる
	○経腸栄養法
	経鼻、胃瘻など投与ルートの特徴を理解し、最適なデバイスが提案できる
	栄養剤の組成や特徴を理解し、病態に併せた栄養剤の選択ができるようになる
	患者の消化器症状や呼吸状態を見ながら、投与速度や投与回数を決めることができる
	他職種と疎通しながら経口摂取への移行を計画できるようになる
	退院時に施設や自宅での管理状況に合わせた経腸栄養方法を提案する
	○経静脈栄養
	輸液の組成・特徴を理解し、医師・薬剤師らと相談しながら輸液メニューを提案できるようになる
3年次	HCUにおける重症患者の栄養管理ができるようになる
	循環動態の把握、装着機器類の特徴、腹部症状、その他病態を理解し、状態にあわせた栄養管理方法を提案できる

C. 各専門領域での認定資格の取得やリーダー研修などのプログラム（診療部共通）

施設認定や診療報酬加算に必要な資格などは病院全体で必要な人数などを検討し、個人の希望も考慮し取得に向けた計画を立てます。また各職種の学会などで主催する研修会や国家公務員共済組合連合会が行う研修会にも参加する機会があります。

名称	認定機関	人数
NST 専門療法士	日本栄養治療学会	4名
病態栄養専門管理栄養士	日本病態栄養学会	1名
腎臓病療養指導士	日本腎臓協会	1名
がん病態栄養専門管理栄養士	日本病態栄養学会 日本栄養士会	1名
心臓リハビリテーション指導士	日本心臓リハビリテーション学会	1名
大阪糖尿病療養指導士	CDE 大阪	1名
日本栄養治療学会 評議員	日本栄養治療学会	1名
修士		4名

★給食業務は全面委託

D. 学会活動の支援

- ・ 学術集会への参加
- ・ 研究会等での発表や論文作成指導
- ・ 臨床研究の基礎的な指導

発表演題

演題名	学会名	年度
慢性心不全患者における当院栄養士のかかわり	第12回関西心不全栄養療法研究会	2021
急性期病院入院中から退院後の心臓リハビリテーションと心不全栄養サポート（管理栄養士の立場から）	第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 合同セッション	2022
残存小腸60cmとなった短腸症候群患者が再び完全経口摂取に移行できた一例	第12回静脈経腸栄養管理指導者協議会学術習慣	2022
KKR 病院栄養士新人教育ガイドライン	第71回共済医学会	2022
チームTGCVでこの難病をグローバルに克服し いのち輝く未来を創る！	中性脂肪学会 第5回学術集会 スポンサードシンポジウム	2022
急性血液浄化と栄養管理	第33回日本急性血液浄化学会学術集会シンポジウム	2022
心臓リハビリ外来で多職種の介入により栄養状態の改善を認めた一例	第30回近畿輸液・栄養療法研究会	2022
心不全診療における真の連携を目指して	第8回日本心臓リハビリテーション学会近畿支部地方会 シンポジウム	2023

経管栄養患者の銅欠乏に対して銅含有アルギニン滋養飲料の投与により改善がみられた一例	第13回静脈経腸栄養管理指導者協議会学術習慣	2023
非代償期心不全患者の栄養管理	第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会 シンポジウム	2023
外来心臓リハビリテーションにおける管理栄養士の関わり	第15回日本臨床栄養代謝学会 近畿地方会 シンポジウム	2023
どうする、心不全患者のタンパク質摂取？チーム医療の出番です！ たんぱく質をとるなら動物性でしょ！	第9回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 近畿支部地方会 シンポジウム	2024
栄養管理総論	第9回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 近畿支部地方会 教育講演	2024
セルフスティグマを抱えた糖尿病のある人に対して医療者のアドボカシー活動が重要と考えられた一例	第12回 JADEC 年次学術集会	2024
『ダイアベティス学習入院』から退院後フォローアップ栄養相談へ	第18回北河内糖尿病療養指導セミナー	2024
チームで取り組む！外来心臓リハビリテーション-管理栄養士の立場から-	第5回高知心不全連携の会	2024
高齢大腸がん患者における術後リハビリテーション栄養の効果について	第28回日本病態栄養学会年次学術集会	2025
高齢大腸がん患者における術後リハビリテーション栄養の効果について	第17回静脈経腸栄養管理指導者協議会学術集会	2025

論文等

タイトル・書名	学会名・雑誌名	年度
慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	ニュートリションケア 2021 冬季増刊	2021
高齢者の身体活動低下	ニュートリションケア Vol15 No11	2022
完全経口栄養へ移行できた残存小腸 60cm 短腸症候群の1例 @2024年度 優秀論文賞 受賞	Medical Nutritionist of PEN Leaders	2024
『糖尿病スティグマと医療者ができるアドボカシー活動』糖尿病患者に対する私達医療者ができる当院の関わり	糖尿病プラクティス	2024
苦手からプロフェッショナルへ 集中治療室 (HCU/CCUde チーム医療最前線)	三輪出版	2024

E. 他施設への研修出向

連合会病院を中心に1年から数年の短期研修に参加していただきます。